

YMCA 大阪青年



3

ユースエンカウンターが持つ計り知れない可能性 ～ YMCA アンバサダーと高校生の出会いが価値を生む～



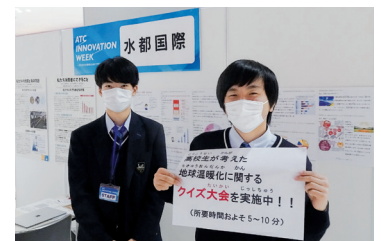
ユースエンカウンター*1を通して、2021年度、大阪市立水都国際高等学校(大阪YMCAが運営)2年生の国際バカロレアコース生がCAS*2でYMCAアンバサダー*3とのコラボレーションに取り組みました。

今回CASの中でも特にService(奉仕)について、社会奉仕活動の経験が豊富なYアンバサダーとの対話を通し、生徒がプロジェクトをより有意義にすることを目的としました。生徒たちは対話を通してYアンバサダーから過去の経験に基づいた幅広い助言や情報提供をいただく中で、社会問題の実情や周りの人を巻き込む効果等を学び、プロジェクトを具体的に有意義なものとししました。現在は、過去の知見が生かされたより良い未来に向けてのプロジェクト

トとして子ども食堂での英語に関する活動、環境問題に関するポスター出展、母校での環境問題に関する出前授業、社会福祉に関するポスター展示が動き出しています。さらに、Yアンバサダーに見守られているという安心感と自信も、彼らの強い味方となりました。

このコラボレーションではユースが学びを得ただけでなく、Yアンバサダーからも新たな価値観や学びを得ることができたとの感想がありました。参加した全員がCASを超えて社会問題やその解決策、方法、マインドについて視野を広げる機会を持ち、成長することができたことは、これまで大阪YMCAが培ってきたYアンバサダーをはじめとする人的資源や学校事業での取り組み

みなど、ユースエンカウンターの実践を行う環境が整っていたことが大きな支えとなりました。今後もユースエンカウンターを継続し、新たな学びを生み出し続けます。



*1 ユースエンカウンター：人生におけるエンカウンター(出会い)が人間的成長を大きく促進することから、大阪YMCAで促進されている、高校生がYアンバサダーとのエンカウンターのプロセスを通じて能動的に成長することを目的とした取り組み。

*2 CAS：国際バカロレアコースのコア科目の1つで、Creativity(創造性)、Activity(活動)、Service(奉仕)を指す。自己決定をしたり、他者とともに活動したりする中で目標達成や自己成長を目指す活動。

*3 YMCAアンバサダー：大阪YMCAに長く関わり、青少年育成や社会課題解決など多岐にわたる活動をされているOB・OGの方。現在登録者30名。

YMCA総合研究所 副所長

しげの なおと
重信 直人

2面に続く >>

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のひとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

一 応援メッセージ

今、人間関係自体を築くことが難しい時代となり、特に世代を超えた関係作りはさらに難しくなっています。

この活動でお互いを一人の人間として認めながら高校生の経験と我々の経験を、対話を通して擦り合わせていくことによって、お互いに気づきや新たな発想を得られ

る機会となっています。

このようなエンカウンターを通じたコース育成をできることがYMCAの持つ大きな財産ではないでしょうか。私たちアンバサダーはこれからも喜んでYMCAの活動に協力していきたいと考えています。



学校法人大阪経済大学
監査室室長
YMCA アンバサダー
まえだ たかし
前田 貴史

YMCA 総合研究所

YMCA 総合研究所は

1. 人的資産の開発研究(必要な人財を総合的に開発する)
2. 事業シーズ研究(横断的、機動的に研究する)

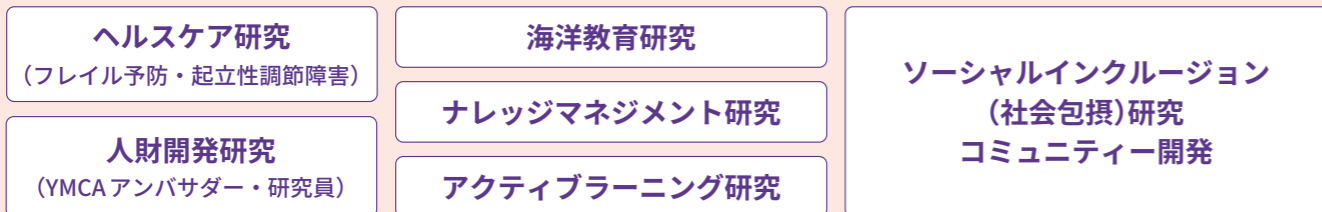
を目的とし、大阪YMCAがグローバルに行っている活動に関連した調査、研究、事業開発、出版、政策提言などを行います。そこからもたらされる知識や情報をYMCA活動に活かし、社会変容に合わせた大阪YMCAの行動変容研究を以下の3つの視点で進めています。

- (1) 大阪YMCA「将来構想」に貢献する
- (2) 横断的視点で「人とYMCA事業の開発」を行う
- (3) 組織状況に応じて「柔軟に直近、中期、長期の研究」を進める
- (4) 140周年記念誌制作

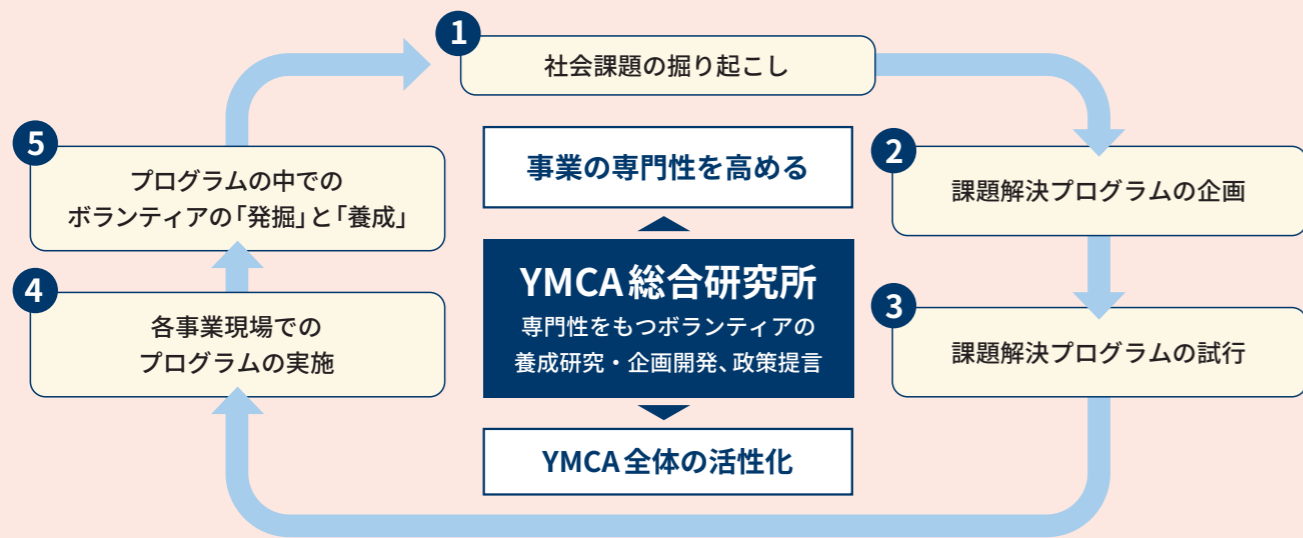
目標とする成果

人が惹きつけられ、新しいことが起こる組織となる
(大阪YMCAのポジショニングの移動とブランド形成)

2022年度主たる研究事項



YMCA 関連システム



ユースリーダーの日の集いの報告

ユース事業部 南・桃の里事業 やすだ りさ
安田 莉紗

新型コロナウイルスの影響が続く中、感染症対策を徹底し、12月23日(木)に大阪YMCA会館で、ユースリーダーの日の集いを開催しました。現地34名、オンライン23名の合計57名が参加しました。

ユースリーダーの日の集いは、ユースリーダー自身がその役割の重要性を自覚し、日頃の活動を見直す機会としています。

2021年度テーマ「みんなで一つに！～それぞれの個性を認め合おう～」のもとに、日本基督教団大阪教会の本庄 侑子牧師から「リーダーという自分たちの存在の大切さ」、大阪YMCA国際専門学校表現・コミュニケーション学科の植村 好宏先生から「コミュニケーションの大切さ」について、実践も交えて学びました。

ワークショップでは、実行委員のリーダーたちが「それぞれの個性を認め合おう」というテーマに導き、各グループでペープサートを作り、実演しました。

参加者からは、「お互いにそれぞれの価値観を認め合うことについて、ペープサートを通して、仲間と考えることができた貴重な時間だった」、「植村先生の有意義な基調講演やペープサートが個性にあふれ、見るにも、参加するにも楽しい会だった」という声がありました。

各地域で活動しているユースリーダーが共に関わり、それぞれの個性について考え、一つになる時間を持つことができました。いつもユースリーダーを見守り、支えてくださっていることに感謝いたします。これからも、ユースリーダーと共に活動を進めていきたいと思えます。



サポートキッズが大切にしていること

サポートキッズ いのうえ さちこ
井上 幸子

サポートキッズは発達に気になる未就学の子どもたちが通う障害福祉サービス事業所で、天王寺区にある南YMCAでクラスを実施しています。サポートキッズに通う子どもたちの2歳～6歳という年齢は、これからの成長に大きく影響を及ぼす大切な時期です。その時期に関わることでできる喜びに感謝し、責任を痛感しながら日々子どもたちと向き合っています。そして、保護者の方々との交流をととても大切にしています。

サポートキッズは子どもたちにとっては、少しの我慢や少しの頑張りが必要だけれど、楽しい！が一番に来る場所です。少しの頑張り少しの我慢で、たくさんの成功体験を積み重ねることを通して自信が付き、自己肯定感を持てるようになります。

保護者にとっては、普段見ることができない子どもの姿を知り成長を感じる場所であり、また子育てに関する悩み事や心配する気持ちを受け止め、寄り添ってもらえる場所です。子どもの障害を受け入れることができず自分を責めて泣いておられる姿、子どもの成長に喜び感動される姿があります。どんな時でも寄り添うことができる存在でありたいと願いつつ、今日も子どもたちを迎えています。



祈りと交流の場—早天祈祷会

早天祈祷会世話人代表 まさぐち のぞむ
牧口 望

1993年4月7日、当時の総主事、田中 義宣氏の呼びかけで始まった早天祈祷会は、毎月第3金曜日の7時30分より開催しています。2021年12月で334回を数えました。コロナ感染予防のため、休会を余儀なくされた月もありましたが続けています。

第1回世話人会趣意書には次のように記されています。「聖書に基づいてイエス・キリストの生き方と教えに学び、さまざまな苦しみに直面している人々のために祈り、心を砕き、重荷を分かち合う愛と奉仕の生き方が社会の中で実践されていくように、共に祈る機会を創設していきたい」と。

祈祷会が終わって雑談されている様子を見ると、「久しぶり

やなあ」「来てよかったわ」と会えた喜びを伝えあっておられます。祈祷会の場が祈りと併せ心の交流の場となることを願っています。



手軽に栄養・水分補給、ミックスジュース ～ソウルフードのちから～

みやにし ともか
高齢者福祉事業 サンホーム **宮西 知華**

現在70歳～108歳が入居している特別養護老人ホームYMCA サンホームでは、月に1度、間食時にミックスジュースを提供しています。

普段は水分補給のお茶やコーヒーを飲み残されてしまう方も、ミックスジュースならストローでズルズルと音が出るまで残さず飲まれ、さらにおかわりをされる方も多く、「よく喫茶店に飲みに行ったのを思い出すわ」、「こんな果物を入れてミキサーしたよ」、「また作ってね!」と笑顔で話してくださいます。

ミックスジュースは1948年(昭和23年)に大阪の果物店が完熟の果物をミキサーにかけて提供したのが始まりだそうです。それ以来、大阪人にとっては長年にわたり慣れ親しんだソウルドリンクと言えるのかもしれませんが。

年齢を重ねるとともに、噛む力・飲み込む力が低下し、うまく食

事ができないことがあります、好きな物や慣れ親しんだ思い出の食べ物は、食べる意欲が湧き、うまく噛んで飲み込むことができるようです。そのために、サンホームでは、入居者の方とコミュニケーションをとり、その人がどこで生まれ育ち、今までどんな食習慣をされてきたかを知ることも大切にしています。

いつまでも口から食べる楽しみを持ってもらえるように、これからは皆さんのソウルフードを提供していきたいと思えます。



*ストローで吸うことは口腔機能の向上になり、低栄養と誤嚥ごえんの予防につながります。

2022年4月1日(金)より土佐堀アフタースクール開始!

土佐堀館周辺には西船場小学校、明治小学校がありますが、これら校区に民間の学童施設が不足しています。大阪YMCAでは地域の子育て支援のため、子どもたちの安全な居場所としてアフタースクールを開設します。また、YMCAとさぼり保育園や英語幼児園から毎年20名前後の子どもたちが卒園していきますが、卒園される子どもたちにとってもYMCAとつながる場となることを期待しています。

YMCAが大切にしている4つの価値(思いやり:Caring、誠実さ:Honesty、尊敬心:Respect、責任感:Responsibility)を大切にしながら、家庭で経験するような温かい時間を積み重ね、笑

顔で、ほっこりできる生活の場を子どもたちと指導者が共に創っていきます。また毎日の宿題にも取り組み、子どもたちの自ら進んで学ぶ気持ちを育みます。

同じ館内のウエルネスセンターやランゲージセンターで実施するプログラムへも、是非ご参加ください。みなさまのご参加を心待ちにしております。

お問い合わせ 土佐堀ウエルネスセンター
担当:津田(開設準備担当) 06-6441-0895

会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2021年12月度・2022年1月度報告(敬称略)

【新規会員】

中島 優佳
林 小雪

佐藤 直子
清水 渚
正野 忠之
杉本 恵俊

弘田 優子
藤岡 宏樹
堀田 牧子
増成 恒哉

【継続会員】

天野 利男
有田 和子
伊藤 俊彦
岩永 和子
岡本 実優
隠岐 絵里
片岡 千賀子

瀧中 慎介
富田 美咲
中井 正博
中久木 康弘
永山 佳奈
二宮 聡
橋本 照夫
長谷川 ゆかり

【継続賛助会員】

紀伊産業株式会社
有限会社杉本写真場
株式会社創元社
株式会社田邊空気機械製作所

大阪YMCA 早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。

■第335回 日時...2022年3月18日(金) 7:30~8:15
※朝食会はございません。

証し...小寺 隆志さん
(大阪YMCA体育・ユーススポーツ事業事業長)

場所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

お問い合わせ...大阪YMCA 統括本部 総務
TEL:06-6441-0894
E-mail:info@osakaymca.org

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧ください
ます。

